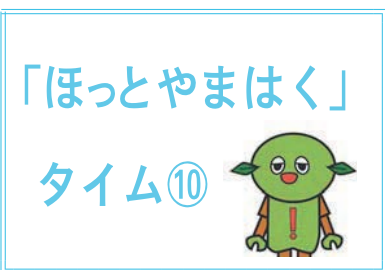


# 「バーチャル収蔵庫」を開設しました



県立山口博物館では、コロナ禍で来館できない方やこれまで博物館に来たことのない方に博物館の魅力を楽しく知っていただくよう、インターネットサイト「バーチャル山口博物館」の充実を進めています。バーチャル山口博物館」には、近年開催した期間展覧会の様子や、天体観望会の様子などを動画や360度カメラ画面で記録して掲載しています。また、クラシック音楽をBGMに、実際に展示室を歩いているかのように常設展示を観覧できる「ミュージックミュージアムinバーチャルやまはく」など、他では例を見ないサイトがあります。そして、このたびその「バーチャル山口博物館」に新たなサイト「バーチャル収蔵庫」を開設しました。

## 「バーチャル収蔵庫」とは

「バーチャル収蔵庫」



様子は、資料の保全のため、常設展示室に出しておく

このできない貴重な資料を公開しています。これまで博物館のホームページにはいくつかの収蔵資料のデータベースがありました。今回開設した「バーチャル収蔵庫」は、これまでのデータベースとは、一味違うサイトになっています。

「バーチャル収蔵庫」の大きな特徴は、資料の様子を360度どの方向から見たり、資料の気になる箇所を好きなように拡大したりすることができ、展示室でもできない資料の楽しみ方ができるようになっています。さて、それではいくつか例を見ながら「バーチャル収蔵庫」の楽しみ方を紹介していきます。

## 国指定重要文化財「防長土図」を高精細3Dで！

まず、当館ホームページから「バーチャル収蔵庫」のバナーをクリックしてみよう。トップページが開きます。トップ

ページに掲載している気になる写真をクリックしても良いですし、画面右上のメニューバーからお好みの分野を選んでいただいても構いません。

ここでは、国指定重要文化財「防長土図」を見



てみましょう。「防長土図」は1767年に萩藩郡方地理図師の有馬喜惣太によって製作された山口県全域の地形模型です。切番号7が現在の宇部市付近の模型にあたります。切番号7をクリックすると、資料を360度方向から見ることができ、画像が開きます。画像左側が沿岸部です。画像を回すと、模型が立体

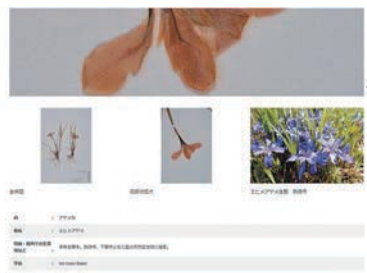
的に作られていることがよく分かります。沿岸部は埋め立てによって今の地形と大きく変わっていますが、山側の地形などはよく再現されていて、約250年前にどうやってここまで正確に標高や地形を測量したのだろうと、考えさせられずにはいられません。

360度画像の下には高精細画像が添付されていて、当時の地名などを読み取ることが出来ます。当時の町の大きさも集落の密度で分かります。ぜひ、皆さんのお住まいになっている場所を探してみてください。

## 7分野の多彩な資料がいっぱい！！

当館は天文・地学・植物・動物・考古・歴史・理工の7分野からなる総合博物館で、掲載している資料も多彩です。

次に、エヒメアヤメを見てみましょう。エヒメアヤメは北方系の植物で、山口県は自生の南限となっていて保護されています。このページでは、標本全体と花部分の高精細画像、それから生態画



像がスライド式に見えることができるようになっており、標本の状態の良さや生態の鮮やかさに目を奪われます。

また、教育科学機器は360度回転画像で全体の構造が見えるとともに、機器が動く様子の動画も添付されているため、この機器の構造や仕組みがよく分かります。

このように「バーチャル収蔵庫」は、一つ一つの資料を多彩な情報で見ることができ、資料を楽しく学ぶことができるサイトになっています。きっと皆さまの心に響く資料があると思います。ぜひ、サイトをご覧になってく

ださい。

漁剛志（学芸課主査・理工部門学芸員）

▽次回は4月6日で

山口県立山口博物館  
TEL083-922-0294  
月曜休館（祝日の場合は翌日）。  
最新情報はホームページで。

